

令和7年度放薬協セミナー
ー前立腺がんにおける標的放射性診断治療の現状と展望ー

<開催案内>

日時：2025年6月24日（火） 17:00～18:40 （現地開催）

場所：TKPガーデンシティPREMIUM東京駅丸の内中央 12階 ホール12D

申込要領：裏面参照

（主催：日本放射性医薬品協会（放薬協） 健保委員会）

<概要>

現在、PSMA（前立腺特異的膜抗原）標的放射性治療薬の適応判断（コンパニオン診断）ならびに前立腺癌の初発、再発の転移診断を目的としたPSMA-PET診断薬の企業治験が国内で実施・計画されています。一方、海外では、欧州や米国、カナダ、豪州等多くの国で既に保険診療されており、NCCNガイドライン等の主要な診療ガイドラインにも記載されています。これにより、前立腺癌の患者様にとって治療選択肢が広がり、高リスク疾患の初期ステージングから再発の転移性去勢抵抗性前立腺癌まで臨床経過のさまざまな時点で、従来の画像診断と比較して個々の患者様に最適な治療アプローチの選択が可能となっていることから、メディカルツーリズムとしてPSMA-PET検査を求めて豪州へ渡航する国内の患者様もおられる、まさにドラッグ・ラグが課題となっています。加えて、PSMA-PET検査により処方判断がなされるPSMA標的放射性治療薬が申請されており、その国内普及にあたって治療病室やRIの管理等に関する課題も議論されています。

このたび、このPSMA-PET検査について広く知識と理解を深めることを目的に、本講演会を開催することとしました。さらに、これまでFDGのみであったPET検査は、アミロイドPET、アミノ酸PET、そしてPSMA-PETと、院内製造だけでなく企業から医薬品としてデリバリーされるものが主流となっていく転換期にあり、保険収載の課題等についても当協会より提示させていただく予定です。

ぜひ、PET診断薬や放射性治療薬に関わる企業の保険担当者、薬事、企画等に携わる方々、並びに関係の医療関係者にもご参加いただき、産官学の意見交換の場としてご活用いただきたく存じます。

<プログラム>

時間	テーマ	講師
17:00	開会	放薬協 健保委員長
17:05~18:05 (60分) ※質疑応答を含む	前立腺がんにおける 標的放射性診断治療の現状と展望 ドラッグラグを乗り越えて ーPSMA標的診断治療の国内導入に向けた期待ー	東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 泌尿器外科学教室 准教授 吉田 宗一郎 先生
18:05~18:40 (35分)	核医学診療に係る医薬品の周辺環境 (1) 核医学診療(診断/治療薬)に係るパイプライン (2) PET診断薬の保険適用プロセスに係る制度上の課題 (3) 核医学治療に関する放薬協の提言 (4) 意見交換（事前質問と回答の紹介）	放薬協 健保委員 放薬協 会員会社
18:40	閉会	放薬協 健保委員長

※厚生労働省 医政局 医薬産業振興・医療情報企画課 ご担当者様のご参加も予定しております。
※ 当日の時間・テーマ、講師などにつきましては、都合により変更になることがあります。

申込要領

- ◆申込期間 : 2025年 6月5日(木) ～ 6月16日(月)
- ◆対象 : 放射性医薬品 関連企業（放薬協 会員会社に限りません）並びに学会関係者
- ◆参加費 : 無料
- ◆申込方法 : 以下を明記の上、jrpa@houyakkyyou.org までお送りください。

必須：会社名 氏名 部署 連絡先(メールアドレス)

任意：事前質問がある場合、合わせてご記載下さい。

※全てのご質問をお受けできない場合があること、ご承知おきください。

※企業様毎で取り纏めの上、お送りいただけますと幸いです。

※キャンセルの場合は、6月20日(金)までにご連絡下さい。

- ◆注意事項 : 申込多数の場合、人数調整をお願いさせていただきます。
(会員会社の参加枠を優先する可能性がありますこと、ご了承願います。)
ライブ配信・オンデマンド配信はございません。
講演資料PDFは講師のご了承が得られた場合、後日参加者に配布させていただきます。
- ◆会場 : TKPガーデンシティPREMIUM東京駅丸の内中央 12階 ホール12D



- ◆備考 : 右記URLにもご案内を掲載予定です。 <http://www.houyakkyou.org/oshirase.html>

＜本件に関するお問い合わせ先＞

日本放射性医薬品協会事務局 鈴木 佳孝、片倉 博
〒136-0075 江東区新砂三丁目4番10号(日本メジック株式会社内)
Tel : 080-7069-5047(鈴木) Mail : jirpa@houyakkyou.org